

- CODE:OS_宮付き高耐荷重すのこベッド_SD_D
- サイズ：420×H297mm (A3)
- 材 質：上質70kg
- 刷 色：1C/1C (Black)

[新規]：2021.08.06

安全上の注意 安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

室内用ベッド 左記以外の用途には使用しないでください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 本品は家庭向けに製造しているため、業務用には使用しないでください。
- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- 本製品の上で跳んだり跳ねたり、踏み台として使用しないでください。けがや破損のおそれがあります。
- お子さまがいたずらしないよう注意してください。
- 電化製品の電源コードをベッドの下に踏まないようにしてください。コードが破損し感電や火災の原因になります。
- 照明器具が点灯している時は、器具に布団やシーツが触れないようにしてください。発熱による火災の原因になります。
- ベッドの上での喫煙はしないでください。火災の原因になるおそれがあります。
- ベッドの設置場所の上部に落下物を置かないでください。地震時などに、けがの原因になります。
- 分解、改造しないでください。破損して重大なけがをすることがあります。
- 移動する際は、必ず全ての物を取り除いてから、引きずらないよう持ち上げて移動してください。床面の傷、破損・けがの原因になります。
- 必ず最大使用者体重以内で使用してください。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- この説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床の傷、へこみなどの原因となりますので十分注意してください。
- 異常な揺れや音を感じたときは点検を実施し安全を確かめてください。
- セロハンテープやシール、ラベルなどの粘着物を貼らないでください。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
 - ・ 直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
 - ・ 水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
 - ・ ぬれたものや熱いものを置かないでください。
- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。
- ねじ、金具類はゆるみやぐらつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいる時はしっかり締め直してください。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

お手入れの方法 長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

- 日常の汚れ、水分などは乾いた布で軽く拭いてください。汚れが取れにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤が残らないように固く絞った布などで水拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。
- 虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。

仕 様	長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。	
品 番	HWBM-SD	HWBM-D
製品サイズ	幅1200×奥行2070×高さ784mm (最大)	幅1410×奥行2070×高さ784mm (最大)
主 要 材 質	フレーム・脚部・宮棚:天然木(パイン)、すのこ:LVL積層合板	
最大使用者体重(約)	90kg	

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
 ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

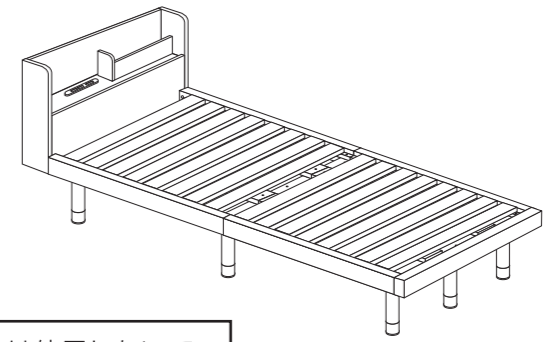
製品に関するお問い合わせは **0120-211-299**
 アイリスコール (通話料無料)

受付時間 平日9:00~17:00、土・日・祝日9:00~12:00 / 13:00~17:00
 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

Web からのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
 メールフォームにご記入のうえ送信してください

MADE IN CHINA
100821-0GR-ITP-02

IRIS 宮付き高耐荷重すのこベッド HWBM-SD/HWBM-D **取扱説明書**



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
 また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

2人以上での組み立てをおすすめします。

必要工具 軍手、⊖ドライバー

注意 インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

図はHWBM-SDの例です。

パーツリスト

- ① サイドフレームA×1
- ② サイドフレームB×1
- ③ サイドフレームC×1
- ④ サイドフレームD×1
- ⑤ フレーム短手×1
- ⑥ 横棧×3
- ⑦ 縦棧×4
- ⑧ すのこ×2
- ⑨ 脚×9
- ⑩ 短脚×9
- ⑪ 背板×1
- ⑫ 棚板×1
- ⑬ 仕切り板(小)×1
- ⑭ 仕切り板(大)×1
- ⑮ 前板×1
- ⑯ 宮棚側板(左)×1
- ⑰ 宮棚側板(右)×1
- Ⓐ 締め付けピン×14
- Ⓑ カムロック×14
- Ⓒ ボルト(短)×29
- Ⓓ ボルト(中)×4
- Ⓔ ボルト(長)×4
- Ⓕ リベットナット×20
- Ⓖ 連結ボルト×9
- Ⓗ ねじ(短)×16
- ① ねじ(長)×9
- ② ムダボ×2
- Ⓚ 平ワッシャー×9
- Ⓛ ナット×8
- Ⓜ フェルト×9
- Ⓝ フロアタイプ用フェルト×6
- Ⓞ コンセント×1
- Ⓟ 宮棚金具×2
- Ⓢ ⊕ドライバー×2

電気機器の安全上の注意

このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

電源コード・プラグについて



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 使用中時々電源が切れる
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
- 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電・けがの原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む



- 電源コードを束ねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。
- タコ足配線しない
- 電源コードを傷付けない
- 電源コードを引っ張らない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。
- 交流100V以外では使わない
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。
- ぬらさない／水や飲み物などがかかる所で使わない
液体がコンセントにかかったときは内部で絶縁低下が生じて発火のおそれがあります。直ちに使用を中止してください。
- 熱を加えない
火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。
- 合計1450W以下で使用する
火災・感電の原因になります。

USBコンセントについて



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



USB給電ポートは正しく使う

- USBケーブルを抜くときは、ケーブルを持たずに必ずUSBプラグを持って引き抜く
ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ずUSBケーブルをUSB給電ポートから抜く
火災・感電の原因になります。
- 使用する機器に適合しているUSBケーブルを使う
機器の取扱説明書で適合するケーブルをご確認ください。
- 正しい向きでUSBプラグを差し込む
USBプラグの形状や向きを確認して差し込みます。無理に差し込むと破損の原因になります。



- USBプラグ以外を差し込まない
クリップなどの細い金属物を差し込むと、ショートによる火災・感電の原因になります。
- USB給電ポートに強い衝撃を与えない

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



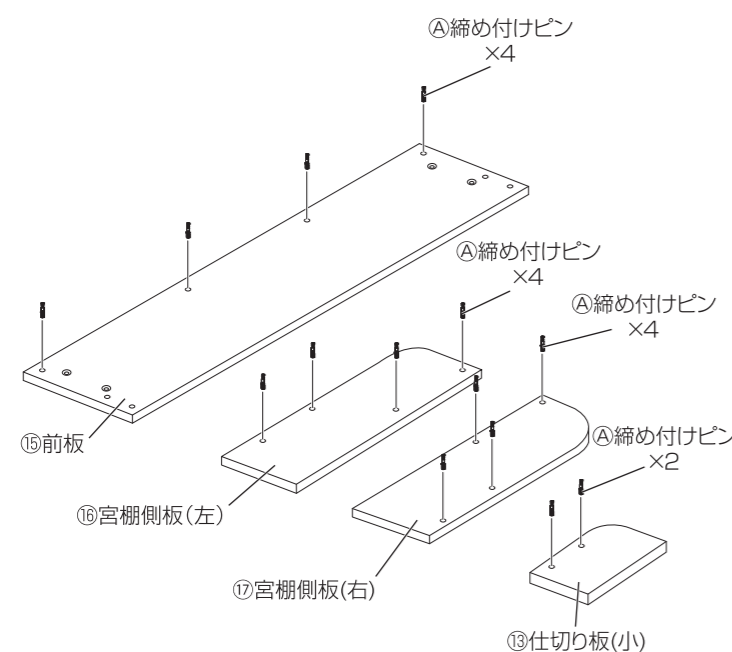
必ず行うことを示す記号です。

組み立てかた

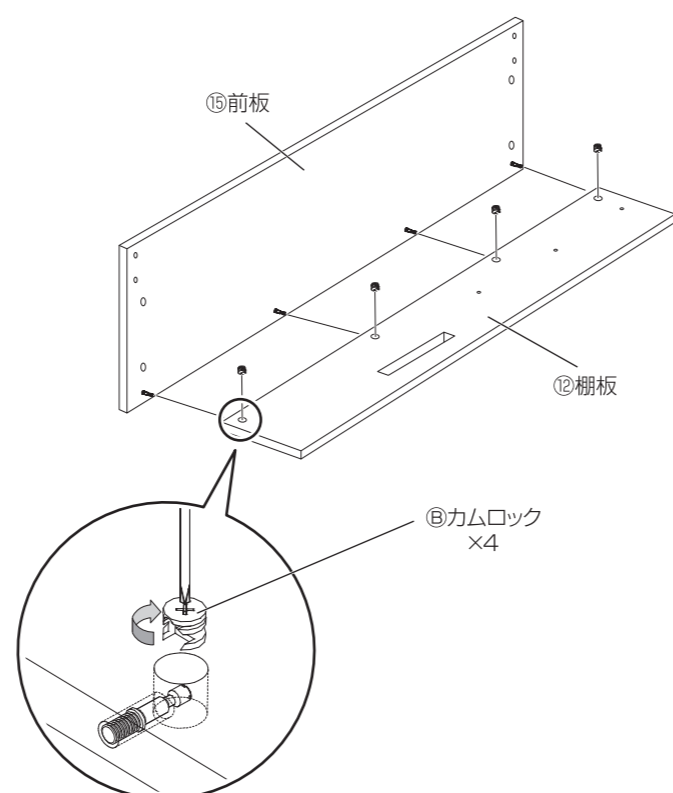
●組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
●設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。

●部品は正確に取り付けてください。

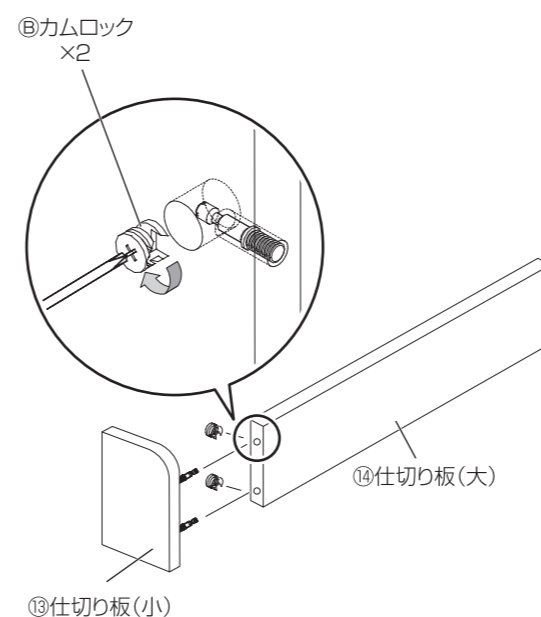
1 ④締め付けピンを⑬仕切り板(小)、⑮前板、⑯宮棚側板(左)、⑰宮棚側板(右)に取り付ける



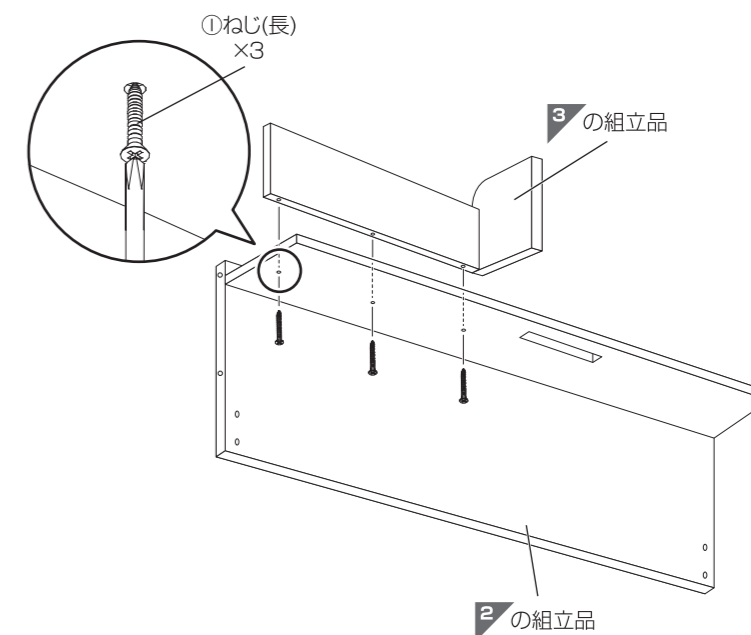
2 ⑮前板を⑫棚板に取り付けて、⑧カムロックで固定する



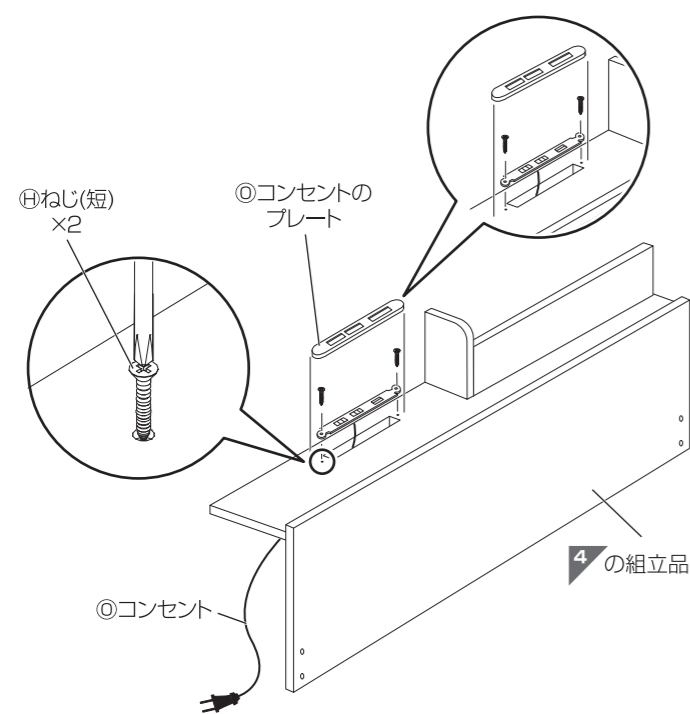
3 ⑭仕切り板(大)を⑬仕切り板(小)に取り付けて、⑧カムロックで固定する



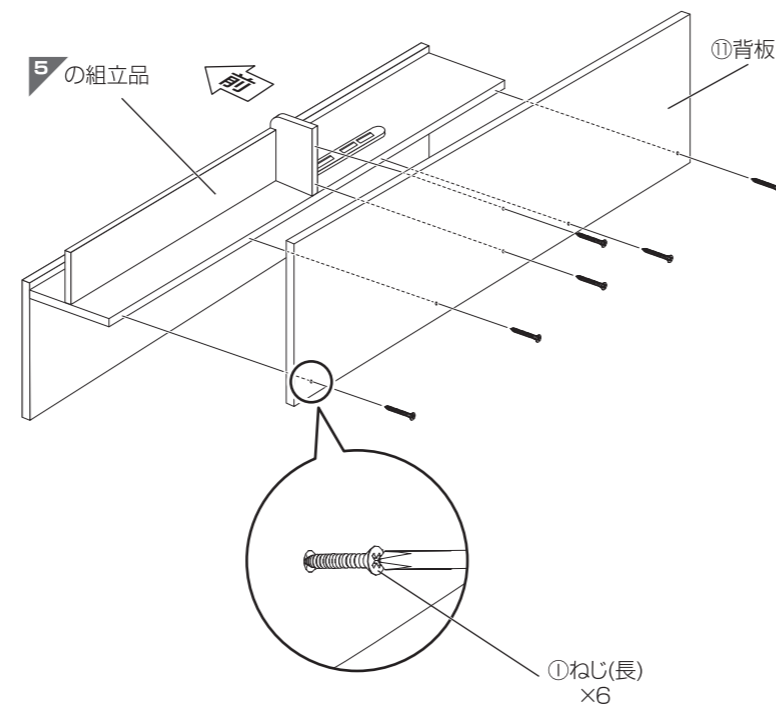
4 ②の組立品を③の組立品に取り付ける



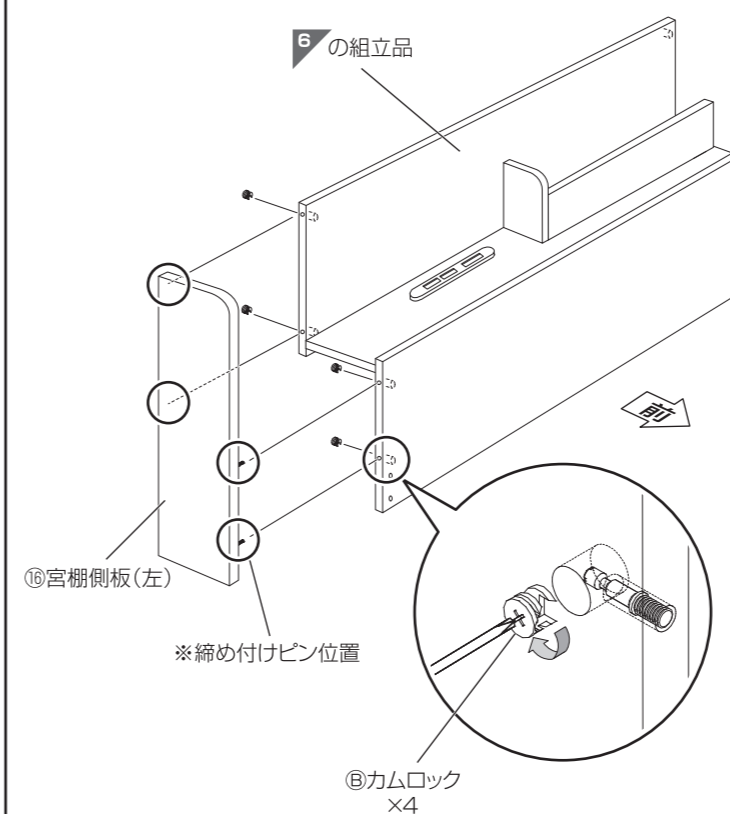
5 ⑩コンセントのプレートを外し、⑩コンセント本体を④の組立品に取り付け、上からプレートを取り付ける



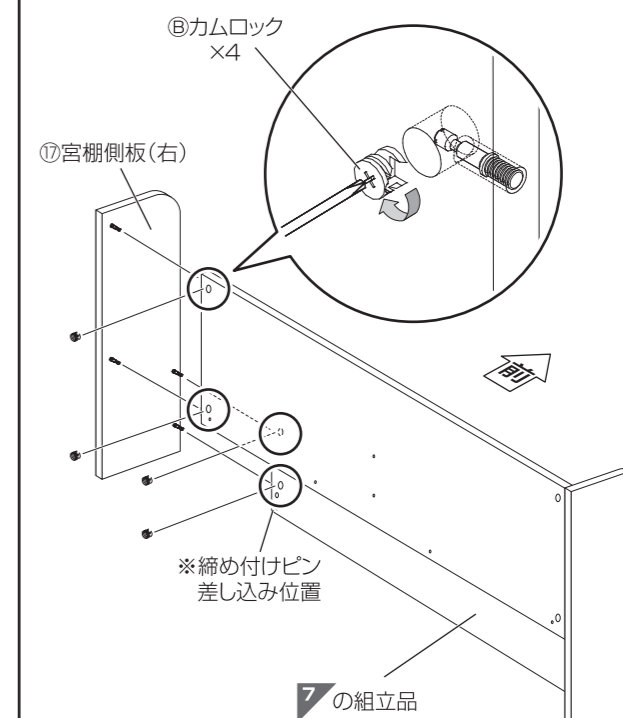
6 ⑤の組立品に背面から①背板を取り付ける



7 ⑥の組立品に⑯宮棚側板(左)を取り付けて、⑧カムロックで固定する



8 ⑦の組立品に⑰宮棚側板(右)を取り付けて、⑧カムロックで固定する

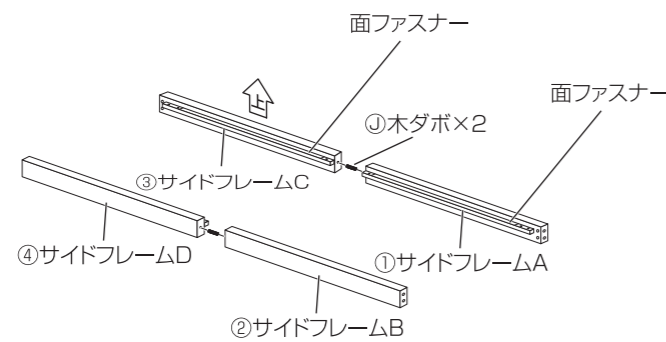


裏面につづく

組み立てかた

- 組み立ては平らな場所で、床などに傷つかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
- 設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。
- 部品は正確に取り付けてください。

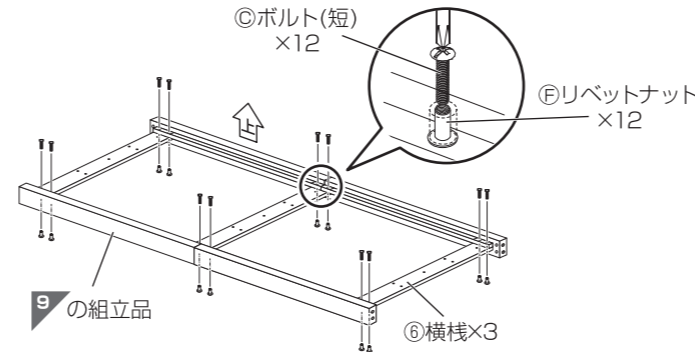
9 ①サイドフレームAと③サイドフレームC、②サイドフレームBと④サイドフレームDを取り付ける



注意 ※サイドフレームには上下がありますので、面ファスナーがあるほうを上にして、組み立ててください。

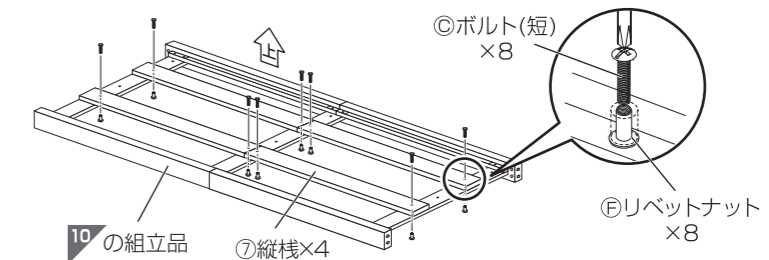
10 ⑨の組立品に⑥リベットナットを先に入れ、⑦ボルト(短)を締め付け⑥横横を取り付ける

※反対側からプラスドライバーで⑥リベットナットを押さえながら⑦ボルト(短)を締めてください。
※リベットナットを使用したボルトの取り付けは2人以上での作業をおすすめします。



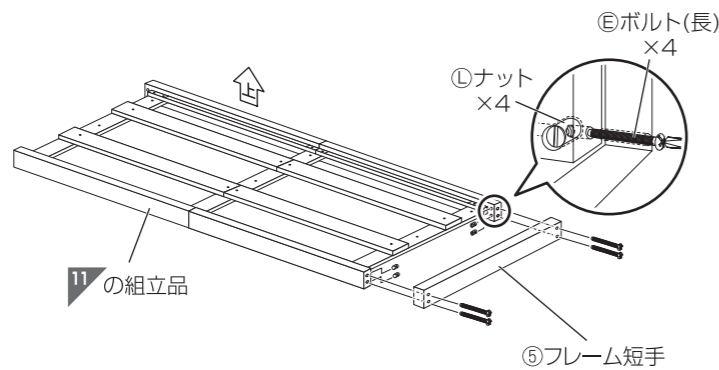
11 ⑩の組立品に⑥リベットナットを先に入れ、⑦ボルト(短)を締め付け⑦縦横を取り付ける

※反対側からプラスドライバーで⑥リベットナットを押さえながら⑦ボルト(短)を締めてください。
※リベットナットを使用したボルトの取り付けは2人以上での作業をおすすめします。



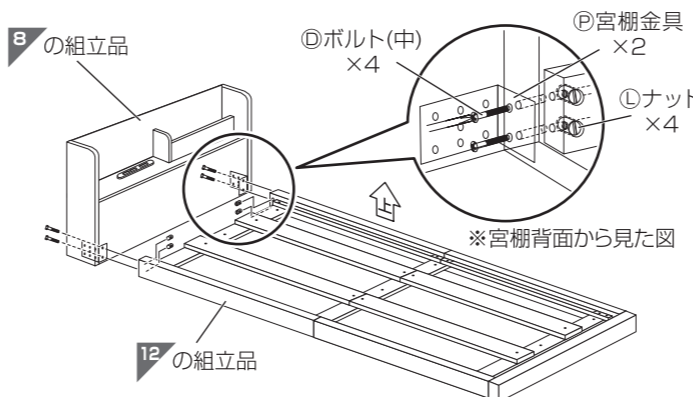
注意 ※縦横には上下がありますので、ボルト穴が大きいほうを上にして、組み立ててください。

12 ⑪の組立品に⑤フレーム短手を取り付ける



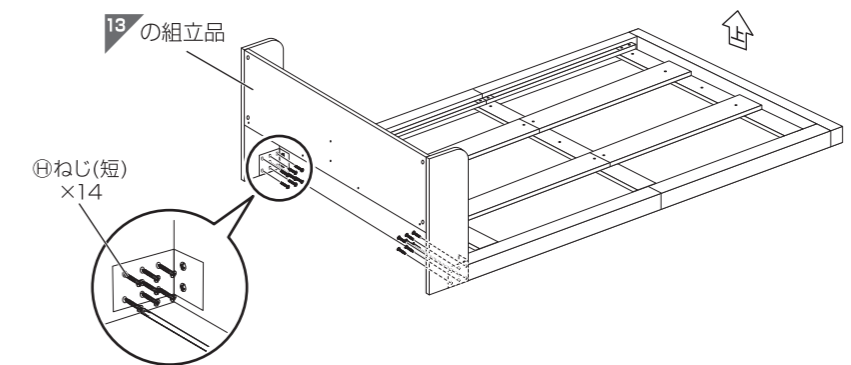
注意 ※⑦ボルト(長)が入りにくい場合は、マイナスドライバーなどで①ナットの角度を調整してください。

13 ⑫の組立品に⑧の組立品を⑧ボルト(中)で取り付ける



注意 ※⑧ボルト(中)が入りにくい場合は、マイナスドライバーなどで①ナットの角度を調整してください。

14 ⑬の組立品を⑧ねじ(短)で締め付ける



15 脚の高さを下記から選んで取り付ける

- 脚を単独で取り付ける場合は⑨脚または⑩短脚に⑭フェルトを貼り付ける
 - 脚を連結して取り付ける場合は⑨脚を⑥連結ボルトで⑩短脚に取り付け、⑭フェルトを貼り付ける
- ※脚を取り付けないフロアタイプで使用する場合は⑮へ進んでください。

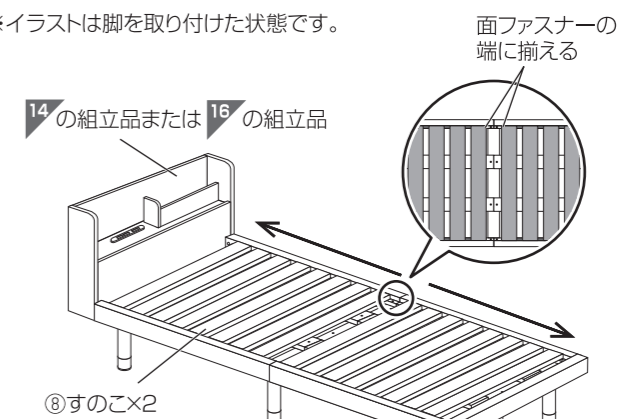
ロータイプ	ミドルタイプ	ハイタイプ

16 ⑮の組立品を取り付ける
⑨脚を取り付けない場合は、⑮フロアタイプ用フェルトを貼り付ける

ロー・ミドル・ハイタイプの場合	フロアタイプの場合

17 ⑭の組立品または⑮の組立品と⑧すのこの面ファスナーの端を揃え、中心から⑧すのこを載せて完成

※イラストは脚を取り付けた状態です。



組み立て完了後、確認してください

- ・ねじがしっかり締まっていること
- ・製品全体にゆがみがないこと
- ・床に接地し、がたつきがないこと